

マンション投資を考えている人！！  
必見の書！！

「人口減少」なのに「住宅過剰」といっておかしな国、日本！

空き家が右肩上がりに増え続け、15年後には3戸に1戸が空き家になるにもかかわらず、都市部では相変わらず超高層マンションが林立し、郊外では戸建て住宅地の開発が続いている。多くつくられ過ぎた分譲マンションは、管理が杜撰になってゆき、治安の悪化を呼ぶ。戸建ての空き家もまた、周りの住環境を悪化させる。住宅地が無秩序に広がると、水道などのインフラや公共施設がそれだけ必要になり、多額の税金が費やされる。このままでは私たちの税負担がかさむ一方で、住環境は悪化の一途をたどるという悲劇が待ちうけている――。

本書に登場するおかしなまち

東京都中央区・港区・江東区・町田市、  
群馬県前橋市、  
埼玉県川越市・羽生市・秩父市、  
埼玉県習志野市、静岡県浜松市、  
千葉県習志野市、和歌山県和歌山市、  
和歌山県香川郡高松市、  
兵庫県神戸市、福岡県福岡市……など。

話題騒然!

# 老いる家 崩れる街

野澤千絵 住宅過剰社会の末路

老いる家 崩れる街  
超高層マンション  
野澤千絵

現在の900万円の空室が  
15年後には  
2100万円を値切る……  
3戸に1戸が空き家に!

おもな内容

第1章 人口減少社会でも止まらぬ住宅の建築  
つくり続けられる超高層マンションの悲劇／郊外に新築住宅がつくり続けられるまち／賃貸アパートのつくりすぎで空き部屋急増のまち

第2章 「老いる」住宅と住環境  
老いた住宅に老いた居住者が／分譲マンションの終末期問題／毎日、市内で水道管の漏水や破綻が起きる

第3章 住宅の立地を誘導できない都市計画・住宅政策  
活断層の上でも住宅の新築を「禁止」できない日本／危険な立地の長期優良住宅 ……ほか

定価・本体760円(税別)  
978-4-06-286397-9

響反大 5刷!

マンション格差

言っではいけない  
不動産界の真実

三井、三菱、住友、野村……デベロッパ大手12社の「販売方針」がよくわかる！  
資産価値が落ちない物件の特徴「マンション」の「廃墟化」のシナリオとは？

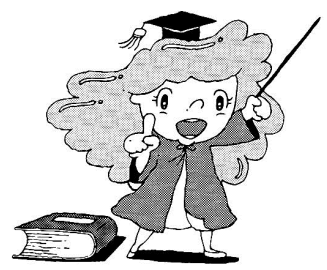
あなたのマンションは「勝ち組」「負け組」?

35年前に購入したマンションの売却目安額が3200万円と800万円何が運命を分けたのか?!

住宅ジャーナリスト  
榎 淳司

定価・本体740円(税別)  
978-4-06-286388-7

講談社現代新書



税理士法人 大平経営会計事務所  
〒440-0083 愛知県豊橋市下地町字横山45番地の1  
TEL: (0532) 53-5333(代) FAX: (0532) 53-5118